



ファームウェアバージョン:	V1.13
ハードウェアバージョン:	A2
発行日:	2010/03/31

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
追加機能:	2
修正した問題点:	2
既知の問題:	3

変更履歴とシステム要件:

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: v1.13	2010/03/31	DAP-2590	A2

追加機能:

ファームウェアバージョン	追加機能
v1.13	特になし

修正した問題点:

ファームウェアバージョン	修正した問題点
v1.13	<ol style="list-style-type: none"> Intel 5300 との互換性に関する問題を修正致しました。 マルチ SSID への接続失敗に関する問題を修正致しました。 認証方式 EAP を使用した DHCP クライアントが正常に動作しなかった問題を修正致しました。 スキャンされ検出された AP のステータスは常に更新表示され続け、「Last Seen」の列は空白になってしまう問題を修正致しました。 WDS モードで接続するアクセスポイントの MAC アドレスを WDS テーブルに一つ以上追加した場合、WDS 接続モードの AP は接続に失敗する問題を修正致しました。 ワイヤレスクライアントモードに設定されている場合、Limit Administrator VLAN ID 機能はグレイアウトされていなかった問題を修正致しました。 (AP クライアントモード時に 40MHz 帯域幅システム (HT40) を暗号化なしで使用した場合) AP クライアントからルート AP への Ping に失敗することがある問題を修正致しました。 コンソールにおいて、「ath_bstuck_tasklet: stuck beacon; resetting (bmiss count 36)」のログが表示される問題を修正致しました。 WDS モード時に稀にリンク LED にエラーが表示される問題を修正致しました。 ビーコンが送信できず、5GHz 使用時にはパケットを送信できない問題を修正致しました。 WPA-Personal に関する問題を修正致しました。 マルチ SSID のセキュリティを OPEN/WEP で設定した場合、キーインデックスが正しく設定されない問題を修正致しました。 NTP 設定後、スケジュール機能を有効にした場合、正常に動作しなかった問題を修正致しました。 RADIUS サーバを外部サーバから内部サーバに変更した場合、RADIUS サーバの設定が消えてしまう問題を修正致しました。 内部 RADIUS サーバにより、ステーションがマルチ SSID に接続できなかった問題を修正致しました。 CLI からマルチ SSID のインデックスを設定することが出来なかった問題を修正致しました。 Primary SSID で内部 RADIUS 認証を有効にしていないと、マルチ SSID で内部 Radius サーバを使う場合にクライアントが接続できない問題を修正致しました。 MAC アドレスの Prefix1C/5C/90 に対応致しました。 WDS info 及び syslog モジュールが実際の MAC アドレスを正しく表示するよう修正いたしました。

既知の問題:

ファームウェア バージョン	既知の問題
v1.13	特になし

Copyright 2006-2010 D-link Japan K.K.